



学校によっては表紙などが独自仕様に差し替えられた情報誌

静岡市内にある全26の高校の同窓会と静岡商工会議所はこのほど、地元企業を紹介する就職支援情報誌「静岡で働く。」を3万1千部製作し、在校生や卒業生への配布を始めた。6日、同窓会関係者が市役所静岡庁舎に田辺信宏市長を訪ね、「静岡に良い企業があることを知ってもらい、地元就職につなげたい」と思いを語った。(政治部・山下奈津美)

静岡商議所と市内全26高校の同窓会

地元就職へ情報誌



就職支援情報誌製作への思いを語る同窓会関係者
＝静岡市役所静岡庁舎

情報誌はA4判、80ページ。製造業やサービス業、金融業など130の企業・団体概要と、それぞれの職場で働く卒業生のロングインタビュー。56人による業務紹介を掲載した。学校によっては表紙や内容の一部を独自の仕様に差し替え、市内で就職した卒業生のロングインタビュー

在校、卒業生に配布

ビュウヤ同窓会長からのメッセージを盛り込んだ。清水東高同窓会が2014年、卒業生向けの就職支援情報誌を作

り、他校の同窓会にも徐々に取り組みが広まった。今年初めて市内全校が参加することになり、掲載企業も16年度の82社から大幅に増えた。

清水東高同窓会の堀谷匠副会長は「今後もより良い情報誌を作っていきたい。親御さんにも読んでもらい、子どもが就職先に関心を持ってほしい」と話した。